

	<p>令和元年7月5日（金） 学校だより7月 第6号 福岡市立堤丘小学校 文責 校長 香川 雅博 TEL: 863-7611 / FAX: 863-7671</p>
--	--

【 7月になりました！ ～19日までじっくりと学習に取り組みます～ 】



早いものです。前期の一節となる夏休みが目の前にやってきました。本年度は、平成から令和になるということで、10連休が登場したり、各行事も“令和最初の〇〇”とちょっとイベント感が醸し出されたり、いつもとは違う少しだけ特別感のある前期前半となっていたような気がします。しかし、子どもたちは19日（金）までは、2学期制の良さを活かして、じっくり学習に取り組みます。各学年の行事や活動等も、まだまだ予定されています。7月からは教室のエアコンも使用許可されていますので、最後までしっかり頑張りたいと思います。

【 スクールビジット交流会！！ ～モンゴル国の4名のこども大使と交流します～ 】

今年も、「アジア太平洋こども会議」で来福する“こども大使”たちと交流をします！昨年度は、アトランタ（米国）から4名のこども大使が来て、子どもたちと1日交流しましたが、今年は、何と『モンゴル国』から4名の大使が来てくれることになりました。…資源の限りのある地球上で生活する私たち人間です。自国のことしか考えられないような人では、幸せには生きていけないと思います。簡単なことではないですが、この体験は、世界の人々が幸せに暮らしていける“平和な世の中”を子どもたちが築いていくことにつながられるような、そんなよい機会になってほしいと考えています。



7月17日（水）に全校集会で歓迎会をした後、上級生を中心に各学級で交流していきます。さあ、子どもたちは、今年どんなコミュニケーションを図ることができるでしょうか。楽しみです。10：40～体育館で行う「歓迎集会」は、保護者の皆様にも参観していただくことが可能です。お時間に都合のつかれる保護者の皆様は、どうぞお越しください。

【 当たり前じゃない… ～私たちは多くの人と支え合って生きていることを知ってほしい～ 】

先月6月には、4年生のご飯炊き／アビ芝プロジェクト補植作業／引き渡し訓練／3年生の総合学習「地域のすてきな人」／5年生の田植えなど、多くの方々のご協力を得て学習・活動を進めることができました。本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。



子どもたちには、これらの学習・活動から様々なことを学んでいくのですが、私自身は、子どもたちには、特に“感謝の気持ちをもつ”ということを通してほしいと思っています。例えば、5年生の田植え（お米）を例にとってみると、子どもたちは普段体をつくる主な栄養源として「お米」を食べています。給食やご家庭の朝食や夕食、レストランに出かけても口にしたいと思います。ですが、子どもたちはこの「お米」を口にできることをどう捉えているのでしょうか？…恐らく何も考えていないか、好きとか嫌いとか、食べたいとか食べたくないとか思ったりするくらいで、お米を食べられることを“当たり前のこと”として捉えてしまっていないでしょうか。しかし、このお米が口に入って来るまでには、相当の時間と沢山の人の手（工夫・努力、苦勞）がかかっています。家でご飯を作ってくれるのは身内の人かも知れませんが、あとはほとんどが会ったこともない他者の働き（努力や頑張り等）によってです。子どもたちには、田植えの体験を通して、このようなことをしっかりと理解してほしいのです。私たちが着る服、使う水や電気、トイレトペーパー等々全てのものが、他者の営みによって生み出されているものであり、私たちはそういう多くの他者の働きで豊かに生きているんだということを心に留めておいてほしいと思います。そして、他者に感謝して、

また自分も、他者のために一生懸命生きていけるような“人”に育ててほしいと思っています。

みんなが、お互いに感謝の気持ちをもって、他者のために頑張ることができている世の中って、きっと安全・安心で誰もが幸せな世の中だと思います。子どもたちには、将来、そんな世の中で生きていってほしいなあと思っています。

～ 雨の日、晴れの日～

教頭 城 幸子

1年生の子どもたちが植えた朝顔が花を咲かせ始めました。植物がたくましく伸びゆく様子は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。

植物の生長にとってなくてはならないものが、雨の日であり、また、よく晴れた日です。どちらもちょうどよいバランスで繰り返されるので、幹や枝は大きくなり、葉は勢いよく生い茂ります。もし、雨ばかり降っていれば、植物は根が腐って育ちません。逆に、晴れの日ばかりでも、水分がなくなって枯れてしまいます。

このように、植物の生長には反対のもの同士が必要です。子どもたちの心の成長にも、雨と晴れのように、まったく反対のものが必要です。それらは「やさしさ」と「きびしさ」です。子どもたちは「やさしさ」だけでは甘えが出たり、わがままが出たりして、よい心は育ちません。また、逆に、「きびしさ」だけでは、気持ちがすさんだり、いじけたり、いらいらしたりして、よい心が育ちません。



子どもたちは、時々失敗しますが、そのときに、きびしく注意されたり、やさしく諭されたりすることによって、的確な判断ができる人になっていきます。このようなことを繰り返し経験することによって、社会の一員として、自覚を持った人間に成長していくのだと思います。

私たち教師は、この「やさしさ」と「きびしさ」を考えながら、毎日の指導にあたっています。

～たくさんの協力に感謝～

教務 渡部 桂三

6月は、4年生のご飯たき、5年生の田植え、芝補植作業、非常災害時引き渡し訓練など、多くのゲストティーチャーをお迎えして、堤丘小の教育活動を進めることができました。

また、学力パワーアップタイムでも、多くの皆様に、丸付け先生としてご協力していただいています。心より感謝申し上げます。

今後も、よろしく願いいたします。



【補植した芝、順調に育っています】

【7月の行事予定】

8日(月)	3年 福岡市学習定着度調査 (算数)	18日(木)	給食終了
9日(火)	学習参観・懇談会 ※規範意識学習会(5・6年参観)	19日(金)	夏休み前全校朝会
10日(水)	平和学習	7月20日～8月26日 夏休み	
12日(金)	大掃除	8月 27日(火)	夏休み後全校朝会
17日(水)	スクールビジット	8月 28日(水)	給食開始